

今日の作家XI: 鷺見和紀郎・畠山直哉

Artists Today XI: SUMI Wakiro / HATAKEYAMA Naoya

会 期：2007年1月6日(土)～3月25日(日)

休 館 日：月曜日(1月8日、2月12日は開館)、祝日の翌日(1月9日(火)、2月13日(火)、3月22日(木))

開館時間：午前9時30分～午後5時 [入場は午後4時30分まで]

観 覧 料：一般800(700)円 20歳未満・学生650(550)円 65歳以上400円

()内は20名以上の団体料金です。高校生以下の方、障害者の方は無料です。

会 場：神奈川県立近代美術館 鎌倉

〒248-0005 神奈川県鎌倉市雪ノ下2-1-53 tel.0467-22-5000

主催：神奈川県立近代美術館

協賛：株式会社資生堂

認定： 財団法人企業メセナ協議会認定

神奈川県立近代美術館では、1988年から「今日の作家」シリーズとして、現在活躍している二人の作家による展覧会を行ってきました。第11回となる本展では、彫刻家の鷺見和紀郎と写真家の畠山直哉の仕事を、新作を含めて紹介いたします。

■鷺見和紀郎アーティスト・トーク

1月28日(日) 午後2時から 鎌倉館にて (ゲスト:松浦寿夫)

■畠山直哉アーティスト・トーク

3月3日(土) 午後3時から 鎌倉館にて

■学芸員によるギャラリー・トーク 1月7日(日) 午後3時から 鎌倉館にて

3月10日(土) 午後2時から 鎌倉館にて

美術館ホームページに掲載される下記のプレス情報をご覧ください。

http://www.moma.pref.kanagawa.jp/museum/press/2006r_sumi_hatakeyama.pdf

お問い合わせ先

神奈川県立近代美術館 鎌倉 〒248-0005 神奈川県鎌倉市雪ノ下2-1-53

tel.0467-22-5000 / fax.0467-23-2464

<http://www.moma.pref.kanagawa.jp/museum/>

広報担当：平井 展覧会担当：奥野(鷺見展)・三本松(畠山展)

鷺見和紀郎－光の回廊 SUMI Wakiro Corridor of Light

鷺見和紀郎(1950-)は、ブロンズ鑄造による作品を軸に、一貫して彫刻の可能性を追求してきました。1970年代からミニマル・アートを批判的に咀嚼した真鍮や鉄の立体を制作し、1980年代からは表面の現われを問いつつも量塊性を意識したブロンズ彫刻、さらに絵画的彫刻ともいうべき〈ヴェール〉のシリーズを始めます。2000年以降には、人体を連想させる〈ダンス〉のシリーズが始まりました。新作では、鷺見の制作の核となるブロンズ彫刻に光(蛍光管)という異素材が組み合わせられ、作家の新たな展開をみてとれます。本展は、代表作品に加え、光と彫刻の関係を示す新作、さらにドローイングやワックスを用いた現場制作のインスタレーションなどで、その多様な作品世界を紹介します。

1. 鷺見和紀郎《EVIDENCE》2006年(撮影:山本紉)
2. 鷺見和紀郎《KAMAKURA VEIL 2006》2006年(撮影:山本紉)

1



2



3



4



畠山直哉展 HATAKEYAMA Naoya / Draftsman's Pencil

畠山直哉(1958-)は、筑波大学で大辻清司に写真を学んだ後、80年代後半から開始した石灰石鉱山のシリーズと、都市を被写体に無人の光景をとらえた作品群で注目を集めました。木村伊兵衛賞の受賞(1997年)をはじめ、ヴェネツィア・ビエンナーレへの参加(2001年)や、国内外での回顧展(共に2002年)など、90年代以降の日本を代表する写真家の一人として国際的に活躍しています。

「Draftsman's Pencil」(製図家の鉛筆)と題された本展は、畠山の主要なテーマである都市や建物の写真に焦点をあわせ、都市の表層性に現れる「自然」について、過去の代表作と近年撮影された新作を合せた約17組(総数約180点)の作品で検証する試みです。

3. 畠山直哉《プレハブ住宅／アルバカーキ》2005年 Cプリント
4. 畠山直哉《タイトルなし／モントリオール》2005年 ラムダプリント